

現在、私は建設コンサルタント会社の9年生になります。昭和62年生まれのラーメンとお酒が大好きな30歳です。

幼稚園から大学まで北見市で過ごしました。同業者である父の影響を受け小さい頃から道路の設計に興味を持っており、大学卒業後すぐに北見市にある現在の会社に入社いたしました。地元から出ることがなかったのでジモティー？と呼ばれる人種なのでしょうか。今でもよく冗談で冷やかされます笑 入社してからは道内様々な地の仕事に携わることができ、ほとんど北見市から出たことのない私にとっては全てが新鮮で良い経験ができています。出張先での食事、晩酌も仕事の楽しみの一つになっています。

入社当時は道路設計や区画整理設計などにサポート的立場で携わっておりました。現在は道路設計を主として交通事故対策、道路附属物点検などに主担当として携わっております。

技術士の試験については、受験資格を得てすぐの平成26年度からチャレンジを開始しました。当時は「熟練技術者にしか合格できない超難関資格」というイメージが強く、腰が引けた状態で受検していた記憶があります。近年は社内で技術士を取得した先輩方が増えており、「自分も！」とモチベーションは上向きでした。社内の先輩方の熱い指導や北見工業大学主催の技術士養成講座、オホーツク技術士会主催の技術研修講座のおかげで、4度目の挑戦で平成29年度の技術士試験に合格することができました。

ここを技術者としての新たなスタートとして捉え、資格取得までの経験を活かしつつ、更なる技術力向上を目指し切磋琢磨いたします。

## 板倉 瑞樹 (いたくら みずき)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社ドボク管理



⇒次号は、布施博輔さん(建設部門)

私は大学卒業後、環境調査会社に就職して以来、河川の中に生息する魚類・底生動物の調査に従事してきました。

これらの調査は、決して一人で遂行できるものではなく、同僚をはじめ、協力会社の方々、アルバイトの方々の力添えがあってこそ、今まで何とか仕事を続けていくことができました。

この場を借りて、改めて、数々のハードな現場を助けて頂いた方々に、心より深く感謝の意を申し上げます。

日々の忙しい生活の中で、「自分は、技術士に相応しい仕事をしているのだろうか?」、「きちんと社会貢献ができているのだろうか?」とふと疑問に襲われることが多々あります。

私は、華々しいビックプロジェクトに携わることはなくても、目の前の自分に与えられた業務と真摯に向き合い、他の技術者と協力して調査精度の高い現地調査を実施し、少しでも優れた報告書を作成すること、そして、次世代を担う技術者をきちんと育成することこそが、現時点での自分なりの社会貢献であると考えております。

技術者としての人生も折り返し地点を過ぎ、刻々と定年という節目に向かっております。北海道の河川環境に携わる一技術者として、残された時間をどう生きるかを自問自答している毎日です。

私は今までの会社生活の中で、技術的に優れ、人間的にも素敵な技術者達に沢山出会ってきました。そんな方々の技術力や人間力に少しでも近づけるよう、新しいことにチャレンジし、自己研鑽をさらに重ねて参りたいと思います。

## 岡本健太郎 (おかもと けんたろう)

●建設部門

勤務先

株式会社セ・プラン



⇒次号は、貴多本大器さん(建設部門)